

陸別

大手にピンチ、三工場が消える

菊地氏、道連会長など辞表

業合同で、同町製材協同組合の実施計画としては

金沢木材と栗原木
工場
渡辺木材と和弘木
材
陸別製材と小利別
木材産業

との合併作業をすすめています。

この統合はそれぞれの片方に吸収合併の形式をとるものとみられ、国有林からの配材関係から合併の場合にはそれぞれの工場馬力一〇〇〇と一〇〇を合せて二〇〇とするのではなく、二工場を合せて一五〇に制限しなければならぬので、そういう点で一步後退の感じをあたえており、とにかく六工場のうち三工場が消えることになるので、それでなくとも過疎化の弊から

長期計画案を樹てる

足寄町都市計画委員会

の木材業界の動きは一般町民にとつてはシヨツク。
しかし業界としてはこのままの状態では原木不足の過当競争で先ゆゑ不安のみとおして、企業は同によつて合理化をはかり、国有林の払い下げ実績を強化して安寧経営にもつてゆこうとしており、労働力、技術者不足のおりからその面もカバーできるとしています。

もはやこんなにちでは町外比例して市街地の都市化現象ははげしく、おそらく昭和六十年までには現在の三倍くらいに膨脹するだろうとのみとおしに立つて、昨年十一月から建設省の基本

新都市計画法の実施にと
もなつて足寄町では、都市
計画区域内の事業に関する
中期計画（昭和五十年まで）
と長期計画（昭和六十年
まで）案を樹てて、七月三
十一日の都市計画委員会（
大浦健三会長）にはかりま
した。

この区域は足寄市街を中
心にして東は足寄の荒井坂
から共助まで、南は下足寄
の発電所まで、西は中矢ま
で、北は愛和橋までの六九
二秒で、そのうち三四〇秒
を市街化区域として公共施
設を充実して市街化をはか
る一方、三五二秒の市街化

調整区域は原則として宅地造成を認めないで農地として保護し、市街化を抑制して公共施設をおこなわない区域となります。

市化街区域

は三倍に

市街化区域三四〇分のう

百人にふえる見込みで、このために住居の環境を保護し、商業、工業の利便を増進し、美観、風致を維持し公害の防止など都市環境を保持するために、住居地域を二〇三十分、商業地域一三・八分、準工業地域四六・四分、公共用地など七六・

都市排水の整備（い）は、区域内に五十年までで排水面積四十分、管きよ事業費二千万円、五十五年まで排水面積一九二十分、管きよ事業費七億六千四百万円、処理場二億八千万円、六十年までに排水面積一四四十分

市化街区域
は三倍に

市衛生区域三四〇畝のうち
四畝、公共用地など七六・
八畝として利用計画を樹て
管きよ事業費五億七千六百
万円を見込んでおり、処理

街路と公園と下水道

年々増大してゆく一方の自動車交通量一そして大型化、重量化に対応する街路網の形成が都市計画事業の骨格で、このために区域内を十二カ所のゾーン断面で区分し、一カ所あたりの人口密度と面積、用途別区分

中央通り、東通りの改良舗装に二億三千三百八十万円

長期計画で、中島通り、山手通り、東通り、校南通り、寺前通りなどの延長、改良、舗装に四億八千九百五十万円

近代的な文化生活をいとなめる都市環境を形成しようとしています。

以上の事業はこんご五十年間にわたつて、大半は国の起債に依存しての実施計画となつています。

不動産 について
の御相談は

調査 売買 あつせん 管理 分譲
代 行 登記 損害保険 代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許 126

足寄町本通り三丁目 T 二三 四五

キメこまかい町行政になつたが――

(一)

ひところ昔の町村役場の行政といえは、産業といつても牛馬籍のとり扱い程度、土木といつても町村道に砂利をまくくらいなもの、議事として問題となるのは戸数割と称する税金の見立て額の問題と税金の見立て額の決定をめぐる論議くらいなもので、ついでさきごろ

それがこんにちではPTAによる公費負担はさけようとすることはもちろん、学校給食から校内プールはつきものとなり、過疎化によるスクールバスにがけて児童手当を支給する

それによる公費負担はさけようとすることはもちろん、学道から営農用水を施設しなければ公平な行政とはいえず、国にさき

それがこんにちではPTA送車を走らせて迎え送り、集落地帯はすべて簡易水

家庭奉仕員を巡回させて面倒をみるといつた状態です

(四)

プはもちろん、ブル、アングル、シヨベルドーザなどの車輛を建設会社なみに備えつけて道路、土地改良、除雪、災害などに機動力を發揮しており、数にかぎりがあるとはいえ年々公営住宅、低家賃住宅から生活改善センター、体育施設などがつきつぎに建てられています。

(六)

町村の重点施策は産業の振

口減少によつてせつかく無その効果は手足まといの農
理して建てた学校も教員住民選別一いぶり出しとなつ
宅ももつたいなくも卒家とてあらわれ、農村の過疎化
化しているのが現実ですがが都市の過密化へ作用して
米作にしても畑作にしても高度成長一工業大國ニツボ
酪農にしても、将来ともコンへの足がかりとなつてい
れは絶対に大丈夫だと太鼓ること、いかに末端の行
判のおせる第一次産業では政がキメこまかくゆきとど
なくなつたところの問題がいたものになつたとしても
あります。

(七)

国の政治が弱肉強食の資本主義経済に支配されている

年々増大してゆく一方の自動車交通量一そして大型化、重量化に対応する街路網の形成が都市計画事業の骨格で、このために区域内を十二カ所のゾーン断面で区分し、一カ所あたりの人口密度と面積、用途別区分

中央通り、東通りの改良
舗装に二億三千三百八十万円
長期計画で、中島通り、山手通り、東通り、校南通り、寺前通りなどの延長、改良、舗装に四億八千九百五十万円

街路と公園と下水道

人口一万四千人を対象に総額十六億四千万円の巨費を投入して、公害のおこらない近代的な文化生活をいとなめる都市環境を形成しようとしています。

以上の事業はこんご十五年間にわたつて、大半は国の起債に依存しての実施計画となつています。

(三) まではその地域で二分の一なり三分の一なりの寄附をしなければ学校も教員住宅も建てられなかつたものでした。

(二) き地のすみずみまで患者輸の役場でもトラックやダン

押しよせる過疎の波に洗わ

それは教育行政の面ばかり

ではなく、公立病院から上

へつていつているのに、役

水消、ゴミ処理からし尿処

場の職員の方は逆にふえて

理も当然の仕事となり、へ

ゆくのはこのためで、どこ

戦前では考えられもしなかつたキメのこまかい行政が、まですつきこまれた農業補助金も相当なものです、その期待に反して離農者のいよ密着してゆく一方で、続出はこれからもさけられ

いつたゆきあたりバツタリ 振興は容易なものではない
の国の農政—それは「新農」ということで、あり余る米
村建設」から「農業構造改」の生産に頭をかかえている
善」へ、そして「総合農政 現状から、さらにあり余る
」へとの新政策を打ち出し 牛乳の始末に手をあげると

にかけた結果、一日あたり
の車輛活動は二万八千八百
台と割り出されたので、そ
れにもとづいての街路網の
整備は

不動産について

調査 売買 あつせん 管理 分譲
代行 登記 損害保険 代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許126

足寄不動産事務所

足寄町本通り三丁目 T二三四五